

学校アンケートの分析

世田谷区立武蔵丘小学校

1 全体を通して

児童・保護者・地域とも、ほとんどの項目において「Aとても思う」（以下「A」）「B思う」（以下「B」）の回答がほぼ7割を超えており、学校に対して好意的であることが分かる。一方で、保護者アンケートの「9（1）本校は、安全な学校づくりを進めている。」、地域アンケートの「6（1）学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。」および「9（2）学校は、安全性を高めようと地域と協力している。」の項目では、「Cあまり思わない」（以下「C」）「D思わない」（以下「D」）の回答が15%に上った。

今年度より教職員アンケートも、学校アンケートの項目に合わせて取ることにした。その結果、いずれの項目においても「A」「B」と肯定的な回答が8割に上り、児童の成長のために教職員が一丸となって取り組んでいる様子が見られた。唯一「C」の評価が3割になったのが、「14子どもは交通ルールを守っている。」である。

児童は「私は、交通ルールを守っている。」では、「A」「B」合わせて9割を超えているが、「学校のきまりを守って、行動している。」項目では、8割を下回っている。きまりを守っていないという自覚によって表れる態度が、教職員の目からすると「交通ルールを守って」ないことにもつながっていると考えられ、今後、重点的に繰り返し指導をしていく必要がある。

2 児童アンケートから

(1) 「1 学習について」では、「先生はめあてについて、自分で考えたり友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。」「授業では考えたことを話し合ったり発表したりする機会がある。」では、「A」「B」合わせて9割を超えている。教員が考える時間を十分に保障し、そうした機会をつくっていることが分かる。今後も探究的な学習を進めていくので、こうした授業を意識的につくっていききたい。

一方で、「学ぶことが楽しい。」「先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。」の項目が8割を下回っている。学級の中で4～6人ぐらいの児童が学ぶことの楽しさを見出せないでいる。学ぶことが楽しいと思うのは、「分かる」「できる」ときである。授業の中で達成感を味わわせる場面を増やせるように、研修等で指導力の向上を図っていききたい。

(2) 「2 生活指導について」では、「私は、学校のきまりを守って、行動している。」の項目が「A」「B」合わせても8割を下回っている。一方で、「学校のきまりを守らない児童に先生は注意をしている。」は、8割を超え、きまりを守らない児童も「先生に注意されたことは、理解できる。」と9割を超えている。指導されたことを受容する素地はあると考えられるため、様々な場面で多くの教員が、正しくないことは正しくない毅然と指導することが大切である。なお、生活指導主幹を中心に「学校生活マニュアル」を作成したので、それを基に生活指導に当たりたい。

- (3) 「3 学校行事について」では、いずれの項目も8割を超えている。学校行事に意欲的に取り組んでいることが伺える。ただ、「先生は、児童の意欲を大切にしている。」で「E分らない(以下「E」)」と回答している児童が12%にのぼる。学級の中で2、3人の児童がそうした実感をもっていないことが分かった。そのような児童も実感をもって取り組めるように、丁寧な指導を心掛けたい。
- (4) 「4 キャリア教育について」の「目標をもち、その実現に向けて努力している。」の項目で、「A」「B」合わせて7割に留まっている。キャリアパスポートや学校行事で目標を意識させ、その実現に向けて努力できるように支援をしていきたい。
- (5) 「5 先生について」では、「先生たちは、ていねいに指導してくれる。」において「A」「B」合わせて9割を超える回答がある。今後も学習指導や生活指導をはじめ、児童一人一人を大切にしたい指導を心がけていく。一方で、「先生たちに相談できる。」では、3割が否定的に捉えている。高学年のアンケートのため、教員より友達に相談する児童が多いと考えられる。また、回答する児童の考える「先生」とは、学級担任のことであると思われるため、内容によっては担任には相談しづらいこともあると推察される。学校全ての教員が味方である、誰にでも相談できることを、さらに児童に伝えていきたい。
- (6) 「6 全般について」では、「学校が好き。」の項目において「A」「B」合わせても8割に届かなかった。また、「私は、家庭で宿題やeラーニングでの学習をしている。」の項目では7割程度に留まっている。これは「1 学習について」の「学ぶことが楽しい。」と関連していると考えられる。学校生活の中心は授業であるため、学ぶことが楽しくないと学校も楽しくないと思われる。そうした児童は家庭学習の習慣がないことも多く、学んだ内容が十分定着しないまま進んでしまうため、ますます楽しさを味わえなくなってしまう。魅力的な授業づくりに学校を上げて取り組んでいきたい。

3 保護者アンケートから

- (1) 「1 学習指導について」では児童のアンケートに準じた結果となり、いずれの項目も肯定的数値が高い。学校公開のアンケートでも、「児童の発言を大切にしている」や「発表の機会が多くあって良い」といった評価をいただいている。今後も、そうした授業の充実を図りたい。
- (2) 「2 生活指導について」では、教員の指導および指導したことについて児童が理解しているかについて、肯定的数値がおおよそ9割になる。教員は児童が理解できるように指導するとともに、指導した内容を保護者へも丁寧に伝えているため、保護者も合意形成ができていると考えられる。今後も、丁寧な指導を意識していきたい。
- (3) 「3 学校行事について」では、肯定的数値が98%にもものぼる。保護者の認知が高いのは、児童が行事を楽しみにしていたり、練習の様子を家庭で話したりしていることがうかがえる。それには、児童が主体となって取り組んでいることが要因と考えられる。

- (4) 「4 教職員について」では、「本校は、丁寧に指導している。」項目において、肯定的数値が9割であった。多くの保護者に、学校での指導に対して理解と協力いただいていることが分かる。今後も結果に甘んじることなく丁寧な指導を心掛けていきたい。
- (5) 「5 全般について」の項目では、おおむね肯定的数値が高い。特に、「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。」では9割を超える保護者が肯定的に捉えている。児童のアンケートにおいても「A」「B」評価を合わせて9割近くが、学校は楽しいと捉えている。その様子が保護者にも伝わり、肯定的数値の高さとなって表れていると思われる。
- (6) 「6 学校からの情報提供について」では、「本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。」項目において、肯定的数値が9割を超えている。また、「7 家庭と学校との連携について」の「私は、学校公開にすすんで参加している。」も9割を超える肯定的数値となっている。どのクラスの保護者も、全期間中1回は参加していることが受付名簿からも分かる。また、学校公開アンケートからは、平常の授業の公開を望む保護者の声が多く、授業への関心の高さが伺える。
- (7) 「8 地域との連携について」では、「本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。」項目が「A」「B」合わせて8割に留まっている。一方で「E」と回答した保護者が12%となっている。今年度は、学校支援コーディネーターが中心となり、教員との連絡・調整及び保護者への通知や依頼にオープンチャットを使って様々な協力を仰いだ。それにより、地域の人材や施設を十分に活用することで、充実した教育活動を行うことができた。体験を基にした学習が児童の学びを深めたと言える。コーディネーターの尽力によって、学びが広がったり深まったりしたことを、今以上に伝えていく必要がある。
- (8) 「9 学校の安全性について」の「本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。」項目では、9割を超える高い評価を得ている。毎月の安全指導日には、年間指導計画に沿って安全に関する指導の時間を確保し、意識を高めている。また、避難訓練やセーフティ教室などで安全に関する指導も繰り返し行なっている。一方で、「本校は、安全な学校づくりをすすめている。」項目での肯定的数値が8割を下回っている。ただ、今年度、正門と給食門が電子錠化されたことにより、安全性は高められた。適切に運用をしていくことで、保護者の理解を求めていきたい。

4 地域アンケートから

- (1) 「2 学校行事について」では、「学校行事の内容は充実している。」項目が9割を超える肯定的評価を得ている。行事によって児童が成長することを教職員は理解しているので、行事を通してどのような力を付けたいかを明確にして、今後も行事の充実を図っていきたい。

- (2) 「3 学校からの情報提供について」の「学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子分かる。」の項目では、肯定的数値が8割を超えている。学校主事が地域を回って学校だよりを投函しているため、学校の様子を知らせることができている。また、「学校公開や道徳授業地区公開講座などで、学校の様子分かる。」項目でも高い評価をいただいている。毎回、多くの方にご来校いただき、参観していただいている。地域の子をみんな育てるという温かい目で見守ってくださっていることに感謝しながら、今後も地域に根差した学校としての役割を果たしていきたい。
- (3) 「4 学校運営について」の「学校の重点目標が明確である。」の項目では、8割を超える肯定的数値である。年度当初の保護者会をはじめ、学校運営委員会や学校協議会、学校関係者評価委員会等で、校長による学校経営方針の説明を行っている。それによって高い数値になっていると考えられる。引き続き丁寧に説明を行っていきたい。
- (4) 「5 地域との連携について」の「地域の人や施設を教育活動に生かしている。」項目で、「A」「B」合わせて8割を超える評価を得ている。保護者アンケートにおいても、同様の評価となっており、学校支援コーディネーターが学校・保護者・地域をつなぐことに尽力されてきた結果であると考えられる。こうした活動を次年度も充実させていきたい。
- (5) 「6 学校の安全性について」の「学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。」項目で18%の否定的な回答があった。保護者アンケートからも課題であると指摘されているが、正門の改修による電子錠の設置等、できることから進めているので、適切に運用していくことで理解を求めていきたい。